

“發展하는 忠北”

'91. 7. 31

産業委員會

# 主要業務報告

農林水產局

# 報 告 順 序

○一 般 現 況

○主 要 業 務 推 進 狀 況

# 一 般 現 況

# 基本現況

□ 面積 ——— 7,436 *ha* (全國의 7.5%)

	田	畓	林 野	其 他
千 <i>ha</i>	75 (10%)	75 (10%)	512 (69%)	81 (11%)

— 戶當 耕地面積 : 1.3 *ha* (全國 1.2 *ha*)

— 營 農 規 模 : 1 *ha* 未滿 55%, 1 *ha* 以上 45%

□ 人 口 ——— 1,414 千名 (355 千家口)

○ 農家人口 (P) : 430 千名 (道民의 31%)

○ 農 家 口 (P) : 115 千家口 (道家口의 32%)

□ 農 業 基 盤

○ 水利安全畓 : 61,349 *ha* (74%)

○ 耕 地 整 理 : 43,700 *ha* → 34,240 *ha* (82%)

□ 畜 產

- 家畜 飼育 : 3,807 千頭
- 畜產 施設 : 219 個所
- 養畜 農家 : 64 千戶

□ 內水面 漁業

- 內水 面積 : 31,473 ha
- 漁業 家口 吳 人口 : 604 家口, 2,401 名

□ 山 林

- 面 積 : 512 千ha
- 所 有 別 : 國有林 14%, 公有林 16%, 私有林 70%
- 林 相 別 : 林木地 98%, 無 林木地 2%
- 私有林 規模別

— 山主數 : 117 千名

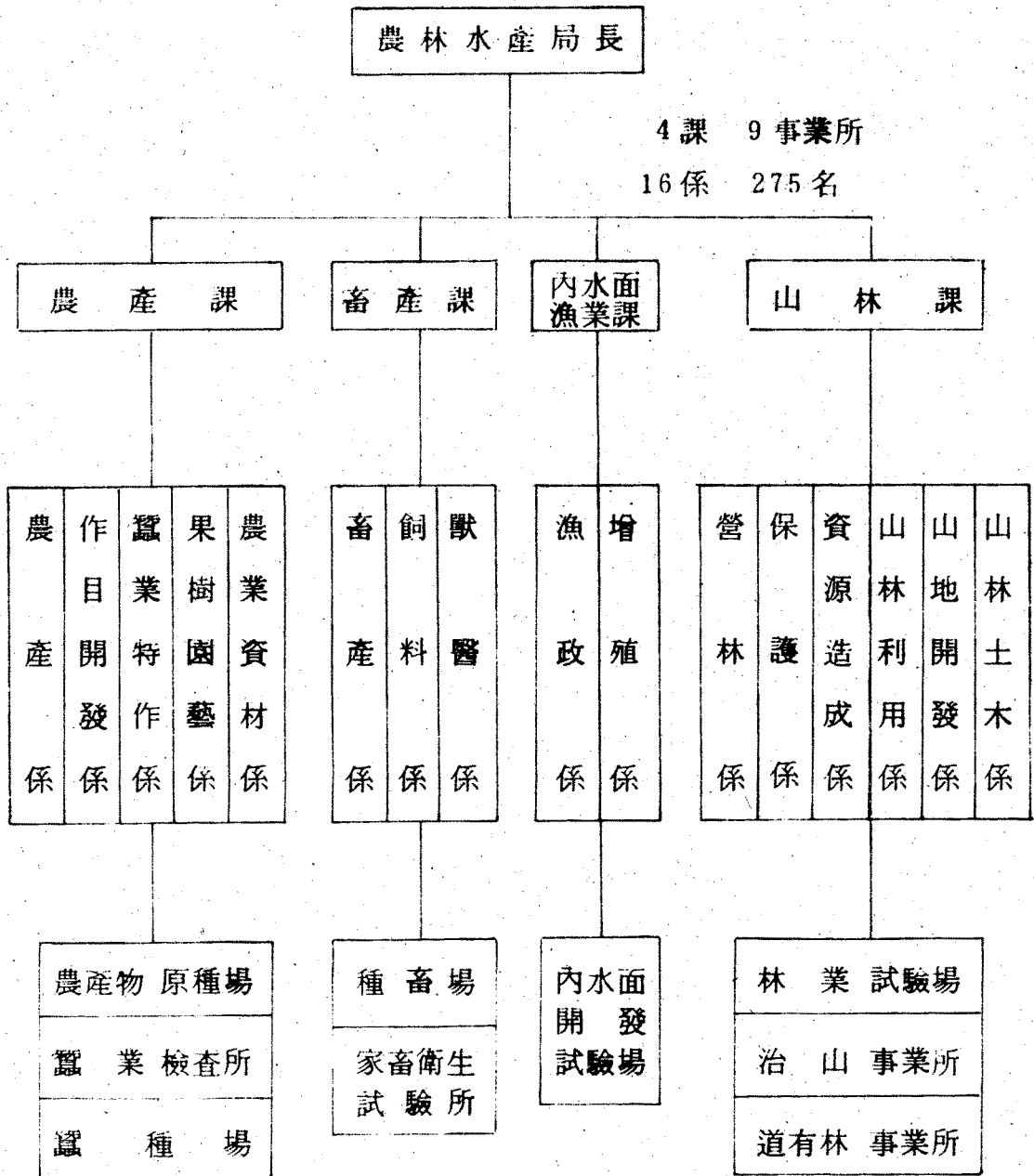
— 規模別 : 1 ha 以下 63 千名 ( 54 % )

1 ~ 5 ha 39 " ( 33 % )

5 ~ 10 " 9 " ( 8 % )

10 ha 以上 6 " ( 5 % )

# 機構 定員



# 主 要 業 務

## 農 產 課

- 局 所 管 行 政 的 綜 合 企 劃 調 整
- 食 糧 作 物 生 產
- 經 濟 作 物 生 產
- 農 業 機 資 材 需 給 調 節

## 畜 產 課

- 畜 產 業 經 營 改 善 及 生 產 性 向 上
- 飼 料 源 的 開 發 及 需 給 安 定
- 家 畜 防 疫 及 畜 產 物 的 衛 生 管 理

## 內 水 面 漁 業 課

- 水 產 物 生 產 增 大
- 漁 業 生 產 基 盤 擴 充
- 內 水 面 資 源 造 成 及 管 理
- 漁 業 生 產 技 術 開 發 及 普 及

## 山 林 課

- 造 林 事 業
- 砂 防 事 業
- 山 林 保 護
- 休 養 林 造 成

# 豫 算 規 模

□ 農林水産局 豫算

○ 道 豫 算 : 295,870 百萬圓 (特別會計包含)

○ 農林水産局 : 18,342 百萬圓 (6.2%)

(單位:百萬圓)

分野別	計	國費	道費	%
計	18,342	7,546	10,796	100
農産分野	5,668	2,287	3,381	30.9
畜産分野	2,317	28	2,289	12.6
内水面漁業分野	599	16	583	3.3
山林分野	9,758	5,215	4,543	53.2



# 主要業務推進狀況

1. 食糧의 安定的 生産
2. 農業 機械化 促進
3. 菜蔬類 生産
4. 果實類 生産
5. 花卉産業 育成
6. 蠶業 振興
7. 畜産 發展의 持續的 推進
8. 粗飼料 增産
9. 家畜 防疫 및 畜産物 衛生
10. 水産 振興
11. 內水面 資源 造成
12. 山地 資源의 効率的 利用
13. 造林 및 育林 事業
14. 砂防 事業
15. 林道 및 自然 休養林 造成
16. 솔잎 혹파리 防除
17. 循環 狩獵場 設定 運營

# 1. 食糧의 安定的 生産

## □ 基本方向

- 消費者 嗜好에 맞는 良質의 食糧生産
- 農業機械化 促進으로 生産費 節減

## □ 生産計劃

區 分	'91 計 劃			'90 實績	生産量 對比	
	面 積	段 收	生産量		'90 實績	全 國
計	98,895 <sup>ha</sup>	391 <sup>kg</sup>	2,707 <sup>千石</sup>	2,694 <sup>千石</sup>	101 <sup>%</sup>	5.8 <sup>%</sup>
米 穀	74,500	450	2,328	2,265	103	6.1
麥 類	480	244	9	9	100	0.3
豆 類	18,610	154	207	270	77	10.6
薯 類	1,080	415	36	36	100	1.5
雜 穀	4,225	407	127	114	111	13.0

## □ 推 進 狀 況

- 良質의 一般田 擴大栽培

— 一般田 種子供給 : 687 % (所要量의 21%)

— 統一系 栽培 減縮 : 12,123 ha (16%) → 4,065 ha (5.5%)

○ 農 土 培 養

- 芟刈施用과 깊이갈이 : 56,500 ha
- 客 土 : 3,140 ha ( 融資金 支援 2,665 百萬元 )
- 土壤改良劑 供給 : 16,730 噸 ( 珪酸質 5,530, 石灰 11,200 )

○ 適期 모내기 完遂

- 機械化 作業率 提高 : 68,578 ha ( 92% )
- 農村 일손돕기 運動展開 : 15 千名 ( 212 ha )

○ 受託營農 擴大

- 受託營農團 運營의 活性化 : 2,529 個所
- 機械化 受託 移秧 : 56,500 ha ( 76% )

○ 벼病害蟲 事前防除 및 安全使用 啓導

- 發生 狀況 : 949 ha ( 病 733, 蟲 216 : 벼물바구미 11 ha )
- 防 除 

[	計 劃 : 486 千 ha ( 植付面積의 6.5 回 )
	實 績 : 306 千 ha ( 計 劃 對 63 % )
- 農藥殘留 許容 및 安全 使用 教育 : 99 千名

○ 밭 作物 生産

- 經濟作物 連作 被害地의 輪作 栽培로 面積確保
  - 契約 生産 : 보리, 콩, 팥, 綠豆, 옥수수

## 2. 農業機械化 促進

### □ 現 況

機 種 別	保 有 臺 數	戶 當 臺 數	
		忠 北	全 國
計	190 千臺	1.7 臺	1.4 臺
耕 耘 裝 備	57	2 / 1	2.2 / 1
移 秧 機	10	10 / 1	13 / 1
收 穫 機	4	26 / 1	16 / 1
其 他	119	1 / 1	1 / 1

○ 機械化 營農團 : 2,557 個團

○ 機械化率 : 移秧 92%, 收穫 85%

### □ 方 針

○ 機械化 促進으로 生産費 節減

○ 農機械 事後管理 強化 - 農機械 整備教育 重點 實施

## □ 推 進 狀 況

○ 農機械 普及 7,200 臺中 5,008 臺 (70%)

※ 收穫機 吳 乾燥機 下半期 供給

○ 機械化營農團 造成 — 478 團

○ 委託 營農會社 育成 — 2 個所 (沃川; 中原)

○ 修理 強化

— 修理業所 191 個所 運營 : 農繁期 集中 修理

— 巡廻 整備 吳 車輛 13 臺 支援 : 部品交換 吳 原價 修理

— 奧地마을 修理工具 50 마을 支援 : 自體整備, 修理日數 短縮

○ 訓 練 強 化

— 整備, 操作技術 教育 訓練 5,980 名中 2,545 名 (43%)

○ 耕耘 裝備 安全事故 豫防 — 耕耘機 夜光板 附着 (10,822 臺)

### 3. 菜 蔬 類 生 產

#### □ 栽 培 計 劃

區 分	面 積	生 產 量
計	21,070 ha	306,060 ㄲ
무	1,840	65,900
배 추	1,750	114,100
고 추	11,000	21,900
마 늘	2,250	14,200
기 타	4,230	89,960

#### □ 方 針

- 適正生産으로 需給 및 價格安定 圖謀
- 流通豫告를 통한 生産量을 農家 自律 調整
- 新鮮菜蔬의 安定供給을 爲한 生産基盤 造成

#### □ 推 進 狀 況

- 무, 배 추
  - 夏節期 菜蔬 需給安定을 爲해 高冷地 菜蔬 栽培勸獎
  - 김장 消費量 減少 趨勢를 勘案 適正面積을 栽培토록 勸獎
- 고 추
  - 今年度 需要에 副應하는 生産性 增大
- 마 늘
  - 價格安定 圖謀를 爲하여 生産出荷調節 資金 支援  
( 743 ㄲ : 520 百萬원 )

## 4. 果實類生産

### □ 栽培計劃

區 分	面 積	生 產 量
計	9,348 ha	99,400 ㎏
사 과	5,100	61,200
배	300	3,900
복 승 아	1,130	12,200
포 도	1,940	16,900
기 타	878	5,200

### □ 方 針

- 新規造園을 止揚하고 優良品種으로 更新
- 品質좋은 果實生産으로 商品性 向上
- 價格安定을 爲한 貯藏施設의 擴充

### □ 推 進 狀 況

- 生産性 및 品質向上으로 國際 競爭力 強化
  - 사과 品種 更新 (41ha), 特殊(二重)封紙 供給 (12,000千枚)
  - 사과 銀箔비닐 被覆 (400 ha), 灌水施設 設置 (33 ha)
- 收穫期 洪水 出荷 防止 —— 果實貯藏庫 建築 (770 坪)
- 規格 選別出荷로 消費者 信賴提高 - 選果機 供給 (13臺)
- 복승아통조림 輸入에 따른 加工用복승아 廢園費補償 : 9.3 ha  
(87百萬元)

## 5. 花卉產業育成

### □ 團地造成 現況

區 分	農 家 數	團 地 數	規 模
計	75 戶	18 個所	19.5 ha
既 存 團 地	44	10	12.0
新 規 團 地	31	8	7.5

### □ 方 針

- 既存 꽃 栽培農家를 中心으로 育成
- 地域與件에 맞는 品目을 自律 選定 栽培
- 輸送施設의 擴充 및 改善으로 新鮮度 維持

### □ 推 進 狀 況

- '91 花卉 團地 造成 ————— 8 個所 ( 7.5 ha )
  - 大規模團地 造成 ( 中央支援 ) : 1 個所 ( 4.0 ha ) 陰城·筓極
  - 小規模團地 造成 ( 道 自體支援 ) : 7 個所 ( 3.5 ha ) 清原外 6 個所
- 優良種苗 普及을 爲한 生産施設 擴充 — 3 種 ( 125 坪 )
  - 組織培養室 20 坪, 低溫處理室 5 坪, 繁殖溫室 100 坪  
( 清原 ) ( 清原 ) ( 清原 )
- 低溫輸送車輛 1 臺, 老朽施設現代化 0.7 ha, 暖房機供給 3 臺  
( 清原 ) ( 清原, 報恩, 陰城 ) ( 陰城 )



## 6. 蠶業振興

### □ 現 況

- 蠶業農家 : 3,563 戶
- 罌 밭 面積 : 1,436 ha
- 製 絲 工場 : 4 個 業體
- 桑苗 및 蠶種 生産業者 : 19 名

### □ 方 針

- 蠶業生産 基盤 內實化로 單位 生産性 向上
- 養蠶 經營의 合理化로 農家所得 增大
- 勞動力 節減을 爲한 機械化 養蠶 促進

### □ 推 進 狀 況

- 罌 밭 造成 — 39 ha, 701千株 植栽
- 누에고치 生産 — 봄고치 287% 生産
- 蠶室·蠶具普及 — 蠶室 : 524棟, 蠶具 : 1,520 組
- 養蠶機械化 普及
  - 自動收繭機 : 80 臺 · 熱 風 機 : 310 臺
  - 罌 收穫機 : 383 臺 · 動力繭取機 : 220 臺

## 7. 畜産發展의 持續的 推進

### □ 基本方向

- 畜産業을 農家 主所得源으로 育成
- 輸入開放에 對備한 畜産業의 競爭力 向上

### □ 計 劃

事業名	畜舍施設 改 善	돼지 輸出	養畜經營 改善教育	人工授精	種畜·孵化業 管 理
物 量	762 戶	30,000 頭	15,000 戶	88,500 頭	41 個所

### □ 推 進 狀 況

#### ○ 畜舍施設 改善

- 畜舍施設의 自動化 및 機械化施設 設計完了 : 182 戶
- 畜産廢水 處理施設農家 支援 : 580 "

#### ○ 돼 지 輸 出

- 輸出規格豚 生産 準備 : 30,000 頭
- 輸 出 推 進 : 6,092 "

## 8. 粗飼料增産

### □ 基本方向

- 山地 및 遊休地를 利用한 粗飼料生産 基盤造成
- 賦存飼料資源의 利用 擴大
- 飼料作物栽培 技術指導

### □ 計 劃

- 草 地 造 成 : 40 ha
- 畜 裏 作 飼 料 作 物 : 870 ha
- 青 刈 飼 料 作 物 : 8,300 ha
- 芻 藁 處 理 : 2,730 基

### □ 推 進 狀 況

- 草 地 造 成 : 12 戶 47 ha
- 畜 裏 作 飼 料 作 物 栽 培 : 對 象 者 選 定 2,370 戶
- 芻 藁 處 理 : 對 象 者 選 定 1,720 戶 2,730 基
- 粗 飼 料 增 産 教 育 : 2 回 149 名

## 9. 家畜防疫 및 畜産物衛生

### □ 現 況

#### ○ 家畜飼育

區 分	소	돼 지	닭	개
戶 數	47,490	3,692	5,927	60,506
頭 數	126,066	173,527	2,879,784	105,736

#### ○ 畜産物 施設

計	屠 畜 場	屠 鷄 場	集 乳 場
15 個所	7	3	5

### □ 計 劃

- 家畜傳染病에 對한 豫防對策 徹底
- 支援防疫體制에서 自律防疫體制로 漸次 誘導
- 公獸醫 現地出張 豫防注射 實施
- 畜産物作業場施設 및 衛生管理實態 點檢
- 肉類中 有害 殘留物質 檢查 施行

### □ 推 進 狀 況

- 豫防注射接種 (소, 돼지, 개) : 150,389 頭
- 寄生蟲驅除 (소) : 42,670 頭
- 檢 診 (소, 돼지, 닭, 개) : 16,270 頭, 首
- 肉類中 有害殘留物質調查 (소, 돼지, 닭) : 1,450 件 (全頭數 陰性)
- 試驗所別 巡廻教育 (4 個所) : 1 回 (52 名)
- 畜産物作業場 施設·衛生實態 點檢 : 1 回

## 10. 水 產 振 興

### □ 現 況

#### ○ 內水面 面積

計	댐	貯 水 池	其 他
31,473 ha	17,320	2,382	11,771

※ 全國 內水面의 15.6% (댐 面積은 全國의 33%)

#### ○ 養殖場 現況

計	가두리식	流 水 式	循環濾過式	其 他
152 個所	74	44	12	22

### □ 方 針

- 遊休 內水面 開發
- 淡水 養殖 技術 普及
- 適正 生産으로 價格 安定

### □ 推 進 狀 況

- 漁業 生産
  - ・ 目 標 : 7,600 %
  - ・ 實 績 (6月末) 2,687 % (養殖 2,152, 漁撈 535)
- 魚病 防止 및 養殖技術 教育 : 4 回
- 優良 種苗 生産 普及 : 300 千尾
- 地域 特性 魚種 養殖 開發 : 3 種 (자라, 淡水새우, 우렁이)

## 11. 內水面 資源 造成

### □ 現 況

- 稚魚 放養 —— 96,517 千尾 ('85 ~ '89)
- 水魚 移殖 —— 288,600 千粒 ('85 ~ '91)
- 人工 產卵場 設置 —— 11,550 m ('88 ~ '91)

### □ 方 針

- 資源造成 擴大 漁業基盤 造成
- 人工產卵場 設置 自然繁殖 擴大
- 水產資源 保護 爲 對 不法 漁業 團束 強化

### □ 推 進 狀 況

- 資 源 造 成 

{	水魚 移殖 : 61,000 千粒
}	人工 產卵場 設置 : 6,120 m
- 名譽 監視官 委囑 —— 110 名
- 虞犯水面 指定 團束 管理 —— 58 個所

## 12. 山地資源의 效率的 利用

### □ 基本方向

—— 山地의 資源化 ——

山林經營基盤構築 + 公益機能增大

### □ 計 劃

區 分	計 劃	實 績	比 率	事 業 期 間
造林 및 育林	25,180 ha	9,360	37 %	• 時期 3 ~ 11 月
砂 防	21 ha (13 km)	21 (13)	100	
林道 및 自然 休養林造成	41 km 2 個所	6 -	15 -	• 時期 6 ~ 11
山林保護	10,860 ha	9,811	90	• 時期 5 ~ 11

### □ 推 進 施 策

- 林業振興 促進 地域에 重點 支援
- 山林經營基盤造成 및 國民休息空間 提供
- 災害防止 및 山地淨化로 山林景觀 保存
- 狩獵場 設置 運營으로 歲收 增大

### 13. 造林 및 育林事業

□ 現 況

○ 山地 資源化 10年 計劃

區 分	計 劃 ( '88 ~ '97 )	既 實 行 ( '88 ~ '90 )	'91 計 劃	備 考
造 林	24,800 ha	10,277 ha	3,600 ha	年間 2 - 3 千 ha
育 林	187,326 "	84,236 "	21,580 "	年間 2 - 3 萬 ha

□ 方 針

- 林業振興 促進 地域 重點 推進
- 솔잎혹파리, 山火 被害地 經濟樹로 代替 造林
- 植栽와 連繫하여 體系있는 事後管理
- 優良天然林 保育으로 良質의 用材林 育成

□ 推 進 狀 況

- 造林 3,600 ha (8,039 千本) 投資 2,637 百萬元 ( 3 - 4 月 完了 )
  - 長期樹 2,439 ha, 速成樹 759, 有實樹198, 大苗100, 造景104
- 育林 21,580 ha 投資 3,228 百萬元
  - 追肥 4,220 ha, 덩굴類除去 1,540 ( 4 - 5 月 完了 )
  - 풀베기 8,120 ha, 稚樹가꾸기 6,600, 天然林保育 1,100 ( 6 - 11 月 )



## 14. 砂 防 事 業

### □ 現 況

區 分	計 劃 ( '88-'97)	既 實 行 ( '88-'90)	'91 計 劃	'92 以 後
山 地 砂 防	250 <i>ha</i>	43	17	190
豫 防 砂 防	100 <i>ha</i>	3	4	93
野 溪 砂 防	290 <i>km</i>	39	13	238
砂 防 埕	90 個所	16	6	68

### □ 方 針

- 系統砂防으로 地域單位事業 完結
- 復舊 및 豫防砂防 並行 實施
- 砂防施工地 事後管理

### □ 推 進 狀 況

※ 投資額 : 1,005 百萬圓

- 山 地 砂 防 : 21 *ha* → 21 *ha* (100%)
- 野 溪 砂 防 : 13 *km* → 13 *km* (100%)
- 砂 防 埕 : 6 個所 → 6 個所 (100%)
- 追 肥 : 47 *ha* → 47 *ha* (100%)

## 15. 林道 및 自然休養林 造成

### □ 計 劃

區 分	計 劃	實 績	比率	投 資 額	備 考
林道施設	41km (15個所)	6	15%	392百萬元	6~11月
自然休養林	2個所	-	-	274 "	"

※ 休養林 { 新規('91) : 沃川 郡西 金山, 156 ha (한림종합조경)  
 繼續('90) : 堤川 白雲 平洞, 170 ha (신경 " )

### □ 方 針

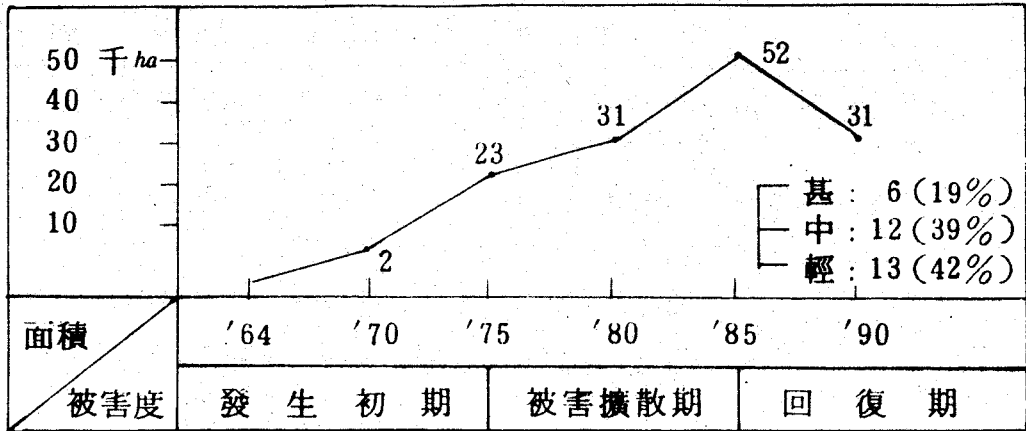
- 山林 經營 基盤 造成과 交通 便益 提供
- 農山村 地域 均衡 發展 및 奧地 山林 開發
- 山林開發로 秀麗한 景觀 休養林 造成

### □ 推 進 狀 況

- 林 道 施 設
  - 豫定地 選定 및 設計 施工 (11月 竣工)
  - 15 全 個所 着工
- 自 然 休 養 林
  - 專 門 業 體 用 役 設 計  
( 駐 車 場, 野 營 場, 山 林 浴 場, 體 育 施 設, 給 水 施 設 等 )
  - 施 工 契 約 完 了 ( 全 個 所 着 工 11 月 竣 工 )

## 16. 솔잎혹파리防除

### □ 現 況



※ 發生沿革 : 北部 丹陽地域 '64年 ← —— 慶北 醴泉  
 南部 永同地域 '68年 ← —— 全北 茂朱

### □ 方 針

- 主要自然景觀 保存地域 重點 防除로 早期 回復 促進
- 蘇生 不可能한 被害林地는 伐採하고 經濟樹 代替 造林

### □ 推 進 狀 況

- 樹 幹 注 射 : 8,500 ha, 1,598百萬원, 100%
- 根 部 藥 劑 處 理 : 360 "", 89 "", 17 "
- 肥 料 予 給 : 700 "", 136 "", 100 "
- 天 敵 放 飼 : 450 "", 53 "", 100 "
- 夏 期 伐 採 : 850 "", 135 "", (推進中)

## 17. 循環狩獵場設定運營

### □ 現 況

- 7年週期 1個道 設定 運營

— 本道는 '84年度 1次 開設에 이어 '91年度 2次 開設 計劃임.

區 分	'84 實 績	歲 入(推定)
歲 入 金	686 百萬원	1,225 百萬원
捕 獲 數 量	6,516 마리	22,813 마리
狩 獵 人 數	2,145 名	3,200 名

### □ 方 針

- 狩獵場 設定 運營 : '91.11.1 ~ '92.2.28.

( '92년부터 2個道式 4年週期 擴大 設定 運營 豫定 )

- 循環狩獵場 歲入金으로 鳥獸 保護 棲息環境 改善 및 常設 狩獵場 開設 事業費에 使用

※ 常設 狩獵場 : '92~'93年度 準備 '94年 開設

( 所要 推定 豫算 : 283百萬원 )

### □ 推 進 狀 況

- 循環狩獵場 設定 承認 申請 → 山林廳 ( '91.5.22 )
- 設定 運營에 隨伴되는 條例 및 施行規則(案) 制定
- 歲入金은 鳥獸 保護 棲息 環境 造成事業에 再投資